

(広報資料)

昨年秋から公開の
旧三井家下鴨別邸で
初のライトアップ事業開催！

平成29年10月2日

京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム
(代表団体：公益社団法人京都市観光協会)

T e l 2 1 3 - 1 7 1 7

ライトアップイベント「光の現代美@旧三井家下鴨別邸」の開催について

この度、重要文化財「旧三井家下鴨別邸」において、「光」をテーマに建物・庭園のライトアップをはじめとした「光の現代美@旧三井家下鴨別邸」を下記のとおり、開催します。

本事業は、日本・中国の優れた現代作家の作品を鑑賞いただく現代アート展と、重要文化財に指定されている近代京都の和風名建築の外観を光で染め、幻想的に照らし出すライトアップの2部構成で実施します。

初冬の旧三井家下鴨別邸にて、近代京都の和風名建築や自然豊かな環境と呼応する「光の現代美」をお楽しみください。

記

1 開催日時

平成29年12月15日(金)～12月25日(月) ※20日(水)は休館

(1) 現代アート展 午前9時～午後5時(午後4時30分受付終了)

※ 主屋1階及び庭園においては、通常通り一般公開を実施しております。

(2) ライトアップ 午後6時～午後9時(午後8時30分受付終了)

※ この時間帯の一般公開は実施しておりません。

2 場所

旧三井家下鴨別邸 (京都市左京区下鴨宮河町58-2)

(1) 現代アート展 主屋2階及び茶室

(2) ライトアップ 旧三井家下鴨別邸敷地内

※ 建物内部へは入場できません。

3 内容

(1) 現代アート展

通常非公開の主屋2階や茶室を会場とし、日本・中国の優れた現代作家たちの芸術作品を、日中の自然光により鑑賞いただきます。

(2) ライトアップ

光のアーティスト高橋匡太氏の演出により、建物の外観を日本の伝統色を基調とする光で幻想的に照らし出します。来場者に1人ずつ提灯をお渡しし、建物の光の変化が連動し、息づく建物と一体となるかのような作品を庭園から鑑賞いただきます。

※ 出展作家等のプロフィール等については、別紙1のとおり

4 観覧料

(1) 現代アート展

大人 1, 200円, 中高生 1, 100円, 小学生 1, 000円

※ いずれも入館料含む。

毎日先着 100 名に「光の現代美」オリジナルポストカードセット進呈 (予定)

(2) ライトアップ

大人 700円, 中高生 300円, 小学生 200円

毎日先着 100 名に「光の現代美」オリジナルポストカード1枚進呈 (予定)

5 主催

・芸術計画 超京都*

・京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム

【構成団体】公益社団法人京都市観光協会／賀茂御祖神社／株式会社曾根造園／
三井不動産レジデンシャルサービス関西株式会社

※『芸術計画 超京都』

2010年にアートフェア（芸術見本市）として活動を開始。初回より「重要文化財杉本家住宅」, 「名勝渉成園（東本願寺）」等の貴重な日本建築を会場とし, 日本文化と現代アートの調和の美しさをご紹介してきた。現在は, アートフェア企画に加え, 展覧会, 講演会, 芸術環境整備にかかわる提言やリサーチなども行っている。

6 共催

京都市

7 問合せ先

(旧三井家下鴨別邸に関すること)

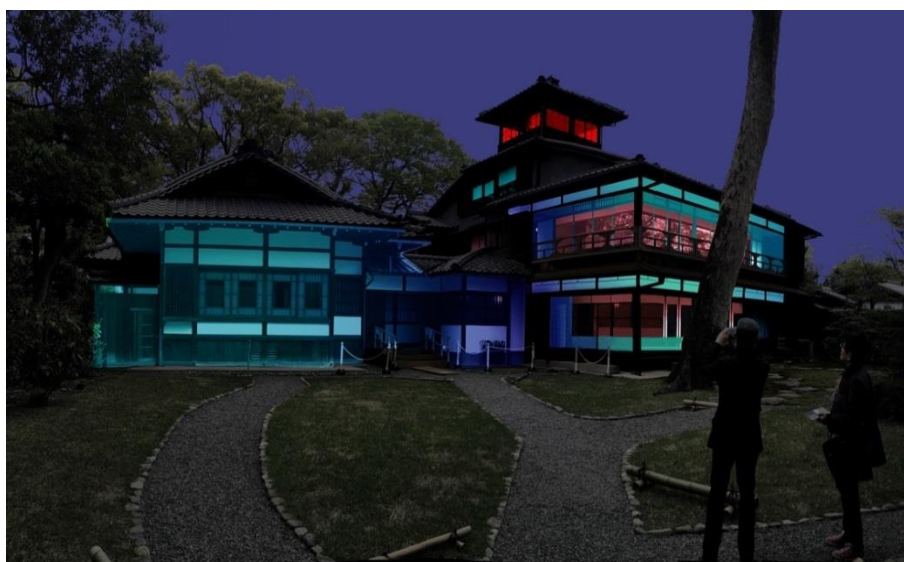
京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム

TEL 075-213-1212 (京都市観光協会事務局)

(事業に関すること)

芸術計画 超京都

TEL 075-341-0222



ライトアップイメージ画像

「光の現代美@旧三井家下鴨別邸」の出展作家について

1 現代アート展（五十音順）

・金氏 徹平（カネウジ・テッペイ）

京都市立芸術大学大学院（彫刻）修了。京都を拠点に国内外の美術館や種々のプロジェクトにおいて活躍する彫刻家。映像や舞台作品も手がける。平成 24 年度京都市芸術新人賞ほか、受賞多数。

・川尻 潤（カワジリ・ジュン）

清水焼の窯元 4 世。日本独自の美意識を現代の表現として制作。展覧会、受賞歴多数。東京藝術大学大学院博士課程修了デザイン専攻。著書に「歪みを愛でる―挑発する日本美術」（2004 年・ポーラ出版）。

・孫 遜（スン・シュン）

遼寧省（中国）生まれ。日本でのあいちトリエンナーレや横浜トリエンナーレ出展をはじめ、国際的に活躍する作家。墨などを基調にモノクロのドローイング、アニメーションを制作。

・二見 光宇馬（フタミ・コウマ）

静岡県生まれ。2008 年陶製の小さな仏像制作を始め、現在 8000 体余りを制作。京都を拠点に活動中。

・牧野 和馬（マキノ・カズマ）

京都工芸繊維大学卒業。2001年 Edinburgh College of Art（英国・エディンバラ市）京都府より文化交流派遣卒業後、写真家：故井上隆雄氏の助手を務める。街角や自然の寡黙な美しさを丹念に見つめる写真家。

・村山 明（ムラヤマ・アキラ）

京都市立美術大学（現、芸術大学）彫刻卒業の後、黒田辰秋に師事。2003 年人間国宝（重要無形文化財「木工芸」の保持者）。作品は、主に櫨の刳物。

・蒔 申義（ロウ・シュンイ）

浙江省（中国）生まれ。ヨーロッパや中国の古典絵画を思わせる圧倒的画力の絵画。国内外で活躍中。

【参考画像】※ 作品のイメージですので、以下の作品は展示しません。



金氏 徹平



孫 遜（スン・シュン）



村山 明

2 ライトアップ

・高橋 匡太（タカハシ・キョウタ）

京都市立芸術大学大学院（彫刻）修了。光のアーティストとして、多数の展覧会、や受賞歴。白熱灯や LED を用い、淡く美しい色により建物や自然の景色を「染める」。各国への在外派遣、プロジェクト参加など、国際的に活動中。

平成 21 年度京都市芸術新人賞。

（参考）旧三井家下鴨別邸について

【施設概要】

大正14年に完成した、下鴨神社の南に位置する豪商・旧三井家の別邸。三井家11家の共有の別邸として三井北家（総領家）第10代の三井八郎右衛門高棟（たかみね）によって建築された。建築に際しては、木屋町三条上るにあった三井家の木屋町別邸が主屋として移築された。昭和24年には国に譲渡され、その後、京都家庭裁判所の所長宿舍として平成19年まで使用される。近代京都で初期に建築された主屋を中心として、大正期までに整えられた大規模別邸の屋敷構えが良好に保存されており、高い歴史的価値を有していることから平成23年に重要文化財に指定される。約4年間にわたる修復工事を終え、昨年10月より一般公開されている。



主屋と一体となった開放的な庭園



国際日本文化研究センター所蔵の古写真を展示



庭園の奥にひっそりたたずむ

【問合せ先】

京都市文化財公開施設運営管理事業受託コンソーシアム

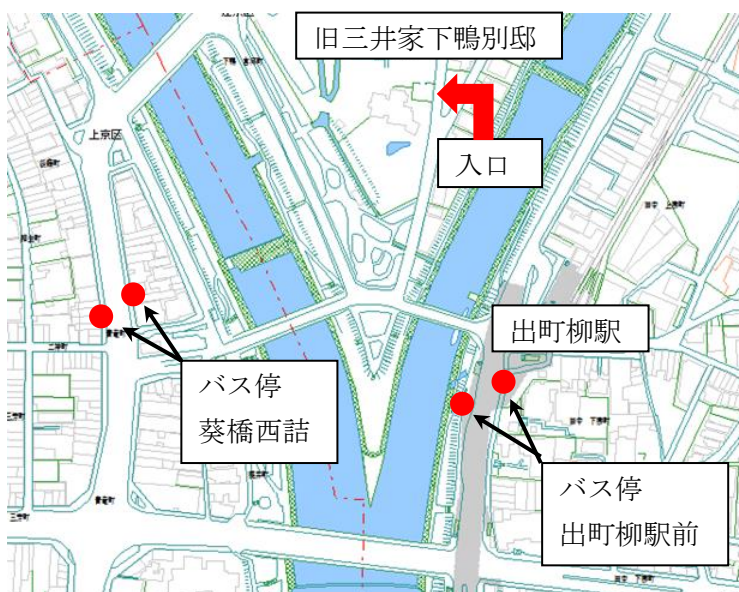
（代表団体：公益社団法人京都市観光協会）

京都市中京区河原町通三条上る恵比須町427番地 京都朝日会館3階

電話 075-213-1212（京都市観光協会事務局）

075-366-4321（旧三井家下鴨別邸）

【アクセス】



- 市バス1・37・205系統「葵橋西詰」下車，徒歩約5分
- 市バス1・4系統「出町柳駅前」下車，徒歩約3分
- 京阪電車・叡山電鉄「出町柳」駅下車，徒歩約3分

※ 重要文化財「旧三井家下鴨別邸」には、専用駐車場がございませんので公共交通機関を御利用ください。